

ガラスという素材に自分だけの表現を見出す

富山ガラス × 佐々木 俊仁ささき しゅんじ [富山県富山市]

2019年に富山市内で「S glass studio」を開設した岩手県出身の佐々木俊仁さん。ガラスという素材を通して自分にしかできない表現を目指す佐々木さんにとって、祖母が遺した裂織りの布が作品制作の指針になっていると言います。裂織りとは、使わなくなった布を細かく裂いて繊維状にしたものを再び織り上げて新たな布に生まれ変わらせる、江戸時代から東北地方に伝わる技法です。祖母の裂織りに着想を得た「裂織りの器」は、制作時に出るガラスの端材を組み合わせて加工することで、その独特の色合いや風合いをガラスで表現しています。また、2022年には新たに「Home」というシリーズを立ち上げ、これまで廃棄されていた工業用ガラスを再生するプロジェクトにも取り組んでいます。



●一輪挿し、グラス「Home」

富山県高岡市のガラス加工メーカー三芝硝材株式会社とともに立ち上げた「SDGsガラスプロジェクト」では、工芸用のガラス作品制作での再利用が難しいとされていた工業用の廃棄ガラスを日用品などに生まれ変わらせている。



●風鈴「時の花」「Home」

風で揺れるたびに涼しげに鳴る音にもこだわって制作されているそう。

【S glass studio】

富山県富山市中老田855-3
TEL:090-2606-5470
<https://shunji-sasaki.com/>



●酒器「裂織りの器」

ガラスの端材を再構築して制作している。表面と中面で異なる表情がそれぞれに美しい。



工房に併設されたギャラリーでは作品を購入することもできる。作品の指針となっているという祖母の裂織りも展示されている。

佐々木 俊仁

1987年 岩手県生まれ
2007年 秋田公立美術工芸短期大学 工芸美術学科 ガラスコース 卒業
2009年 一般財団法人 富山市ガラス工芸センター 入所
2011年 「金屋町楽市賞」大賞
「越中アートフェスタ」佳作
2016年 富山ガラス造形研究所 教務課 助手
2019年 富山市にて「S glass studio」を開設
2020年 「国際工芸アワードとやま2020」入選

紹介動画は
こちらから